



ベルギー・フランドルのオペラ制作事情

「House of The Sleeping Beauties～眠れる美女～」
プランナーを迎えて

東京文化会館では、2016年12月、川端康成の中編小説『眠れる美女』を原作とするオペラ「HOUSE OF THE SLEEPING BEAUTIES～眠れる美女～」の上演（日本初演）を予定しております。

日本の文学作品を原作に、海外の一流アーティストによって現代オペラ作品として上演された本作は、これまで日本における上演の機会がありませんでした。

2009年の初演以来、高い評価を得てヨーロッパ各都市を巡回した本作のプランナー、ギイ・カシアス氏とクリス・デフォート氏の来日に伴い、この作品について、また、ベルギーにおける現代オペラ作品の制作について、お話をいただくオープン・レクチャーを企画いたしました。

演劇、映像、ダンスなど、さまざまな要素が融合したこの作品の制作過程には、日本における舞台芸術の制作に関して示唆することも多く、貴重な機会になることでしょう。

日時 平成27年7月9日（木）
18時30分～20時30分
会場 江戸東京博物館 ホール
(JR総武線・都営大江戸線 両国駅)

パネリスト

ギイ・カシアス 演出家

クリス・デフォート 作曲家

ゲストコメンテーター

中川賢一 指揮者・ピアニスト

川口隆夫 ダンサー・パフォーマー
(兼通訳)

※登壇者のプロフィールは裏面をご覧ください。

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
問合せ先：事業企画課 事業係 TEL 03-3828-2111 FAX 03-3828-1601
〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45 URL <http://www.t-bunka.jp/>

参加申込方法：

- 参加ご希望の方は、下記の申込書にご記入のうえ、FAXでお申込みください。
- 申込み締切日 平成27年7月3日（金）
- 先着順での受付となります。定員（200名）になり次第、申込み受付を終了いたします。
- 当日は、本紙をご持参いただき、会場受付でご提示ください。

参加申込書／送信先 FAX：03-3828-1601

ベルギー・フランドルのオペラ制作事情 —「House of The Sleeping Beauties～眠れる美女～」プランナーを迎えて— 2015年7月9日（木）18:00開場・18:30開始 江戸東京博物館 ホール		
お名前		
ご所属		
ご連絡先 (いずれかで可)	お電話番号	
	E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、本事業にのみ使用し、他の目的での使用、第三者への提供・開示を行うことはございません。

パネリスト



©Kurt Van der Elst

■台本・演出

ギー・カシアス Guy Cassiers

1960年生まれ。アントワープ出身。ヨーロッパで最も革新的なシアター・メーカーの一人。アントワープ芸術アカデミーでグラフィックデザインを学んだことが、彼の演出スタイルに大きな影響を与えている。舞台からある程度の距離を常に置くことで、独自の表現方法を創造しており、文学(言葉)と新しいメディア(映像)の融合による、演劇(シアター)の再定義を試みている。

1997年、これまでの取り組みを称えられて、フランマン批評家協会からThersite賞が贈られる。他に、ベルリン・フェスティバルの阿姆斯特ダム賞(2004年)やヨーロッパ・シアター賞(2009年)など数々の賞を受賞。1998年よりthe Ro theatreの芸術監督に就任。また、2006年よりToneelhuisで芸術監督を務める。モネ劇場で上演された「The Women Who Walked Into Doors」、ヤスカラ座やベルリン州立歌劇場でリング・チクルスなどオペラ演出も手掛ける。



©Kurt Van der Elst

■台本・作曲

クリス・デフォート Kris Defoort

ベルギー生まれ。リコーダー、古楽、ジャズ・ピアノ、作曲、即興を学ぶ。その後ニューヨークへ。ジャズ・ピアニストとしての活動を開始。帰国後も卓越したセンスをもったピアニストとしてソロ及び自らのトリオでライブ活動を行うから、LOD(ゼント)のレジデンスコンポーザーを務めている。

現代音楽の分野でもピアノ曲や弦楽四重奏曲などを発表している。さらに、すでに2作のオペラが上演されており、中でも2作目は川端康成の小説「眠れる美女」を原作とした作品で、モネ劇場を始めベネルクス3国及びドイツなど各国で上演された。

ゲストコメンテーター



©Shuhei NEZU

■指揮者・ピアニスト

中川賢一 Ken' ichi Nakagawa

桐朋学園大学音楽学部でピアノと指揮を学び、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。97年ガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ダンスや朗読など他分野とのコラボレーションも活発。ピアノ演奏とトークのアナリゼを展開し好評を博す。指揮者として、東京室内歌劇場、東京フィル、広響他と共演。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」メンバー。

現在、お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。

<http://www.nakagawakenichi.jp>



■ダンサー・パフォーマー

川口隆夫 Takao Kawagichi

1996年よりパフォーマンスグループ「ダムタイプ」に参加。並行して2000年よりソロ活動を開始。近年は『病める舞姫をテキストにー 2つのソロダンス』(12~)、『大野一雄について』(13~)など、舞踏についてのパフォーマンス作品を制作し、2014年から15年にかけて再演や東北ツアーを行う。

また、照明演出の藤本隆行(ダムタイプ)、ダンサーの白井剛とともに『true/本当のこと』(07~11)、『Node/砂漠の老人』(13)、香港のディック・ウォン、映画監督今泉浩一とともに『Tri_K』(10~12)など、コラボレーションも多数。

会場のご案内

東京都江戸東京博物館 1階 ホール

◆JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分、東口下車 徒歩7分

◆都営地下鉄大江戸線 両国駅(江戸東京博物館前) A4・A3出口 徒歩1分

◆都バス錦27・両28・門33系統、墨田区内循環バス

「すみだ百景すみまるくん・すみりんちゃん(南部ルート)」

「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

